

平成30年度 八代高等学校シラバス

教科	理科	科目	生物基礎	学年	1	類型	
単位数	2	教科書	改訂 生物基礎（東京書籍）				
副教材	実教出版 サイエンスビューー 生物総合資料						

学習目標	日常生活や社会との関連を図りながら、生物に関わる様々な現象に対して興味関心を高め理解するとともに、科学的なものの見方や考え方を身につける。
------	---

学期	学習内容	学習の到達目標 (完全に理解すべき事項)	到達自己評価		
			A	B	C
1 学 期	第1章 生物の特徴	生物は多様でありながら共通性をもっていること、生命活動に必要なエネルギーと代謝について理解する。 DNAの特徴について理解すること。DNAが複製され分配されることにより、遺伝情報が伝えられること、DNAの情報に基づいてタンパク質が合成されることを理解する。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	第2章 遺伝子とその働き		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2 学 期	第3章 生物の体内環境	体内環境が保たれていること、体内環境の維持に自律神経とホルモンがかかわっていること、免疫とそれにかかわる細胞の働きについて理解する。 陸上には様々な植生がみられ、植生は長期的に移り変わっていくことを理解すること。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	第4章 植生の多様性と分布 (植生と遷移)		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3 学 期	第4章 植生の多様性と分布 (バイオームとその分布)	気温と降水量の違いによって様々なバイオームが成立していることを理解すること。 生態系では、物質が循環するとともにエネルギーが移動すること。生態系のバランスについて理解し、生態系の保全の重要性を認識すること。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	第5章 生態系とその保全		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

学習方法	①さまざまな用語を他者に説明できる。②生命現象のしくみを文章で説明できる。 この2点を到達目標として授業に臨み、家庭学習に取り組む。
------	---

評価方法	①定期考査（課題考査も含む） ②課題 ③授業への取り組み姿勢 この3点を総合的に判断し、学期ごとに100点満点で算出する。
------	--